

地域支援事業参画のための士会マネジメントに関するQ&A ver1.2 (要約)

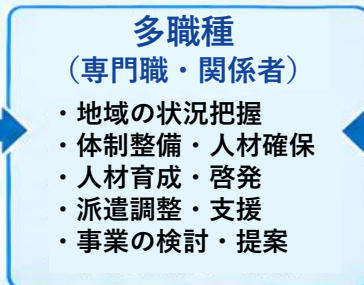
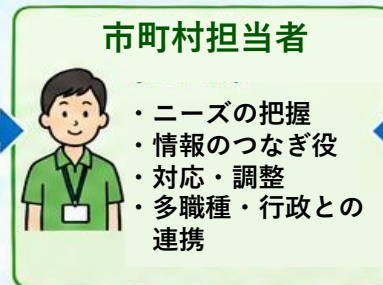
市町村担当者とは



全国約1700の市町村それぞれを担当する会員。
子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、市町村のニーズに応え、作業療法士が専門職として参画しやすい環境をつくるために活動する。

士会の状況を踏まえ、配置方法・役割・その他を士会独自にマネジメントする

市町村のニーズ（作業療法ニーズ）を吸い上げ、多職種で支え・対応する仕組みづくり



士会マネジメントの主なステップ



主なQ&Aのポイント (カテゴリ別)

① 市町村担当者の配置・役割

- ・配置の目的・役割の明確化
- ・配置のステップ（主体・区域・担当者）
- ・役割の共有・分担（会議・調整）
- ・参画状況の把握と情報収集



② 参画状況・体制の確認

- ・OTが不在地域への対応
- ・配置後の取り組み方法
- ・派遣体制や報酬の把握



③ 体制整備・人材育成・確保

- ・協会の教育システムの活用
- ・人材確保の工夫（研修・リーフレット等）
- ・所属事業所への理解促進



④ 多機関との連携・事業参画

- ・所属事業所の理解、専門職と連携方法
- ・多職種との連携の強化
- ・OTの専門性の発信方法



市町村担当者の具体的な役割 (例)

- ✓ 市町村のニーズ・課題の把握、情報収集・共有
- ✓ 行政や多職種との連携・関係づくり
- ✓ 地域支援事業への参画・派遣の調整・支援
- ✓ 士会内の会議・事業所への情報提供・啓発
- ✓ OTの専門性や士会の取り組みの発信
- ✓ 事業の検討・提案、改善のフィードバック

情報の流れとつながり



啓発活動のポイント

士会内への啓発

- ・ニュースレターやリーフレットで情報共有
- ・成功事例の共有
- ・市町村担当者の役割を周知



士会外への啓発

- ・行政担当者にも分かりやすい資料作成
- ・士会長・理事の協力のもと、専用の名刺を作成してもよい



大切な視点 (成功のポイント)



顔の見える関係づくり
会合や研修会を活用し、信頼関係を築く



OTの専門性を伝える
できること・視点の違いを丁寧に発信

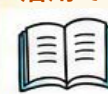


実情に合わせた柔軟な体制づくり
小さく始めて拡大



情報共有と連携の継続
PDCAサイクルで改善を続ける

活用できる主な資料・事例 (抜粋)



- ・地域包括ケアシステムの手引き第2版
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 短期集中予防サービス実践事例集Vol.1
- ・保健事業と介護予防の一体的実施事業 作業療法士参画マニュアル
- ・士会の取り組み事例（北海道、新潟、宮城、東京、静岡、広島など）
- ・情報共有の取り組み例、リーフレット事例など

各リンク・詳細は該当ページの「事例をみてみる」をご参照ください

